

210 mm

福祉環境委員会報告

pick up!

委員会において補正予算については南吹田地下汚染水対策に関する調査費や認定こども園の給食調理業務と、こども発達支援センターに関わる内容を議論。その他、市の埋葬施設「やすらぎ苑」の使用料値上げの事、国立循環器病研究センター移転に伴うおおさかすいたハウス（ドナルドハウス）移転支援とその跡地に休日診療所を移転させる提案などについて、様々な質疑がなされました。泉井も子供たちに直接関係する給食調理業務や、こども発達支援センターの2つに関しては、慎重に議論、そして変な制度となっている事に対して指摘させていただきました。また南吹田地域の件に関しては、調査費の予算が可決されましたので、引き続き対策実施に向け取り組んでいきます!

その他の注目議案

- ◎ **吹田市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定 (案)** **可決**
(平成28年度の市役所の組織改革を行う改正案です) ・全会一致
- ◎ **吹田市水道条例の一部を改正する条例の制定 (案)** **可決**
(水道料金の値上げに関する改正案です。修正が入り、値上げ率10%) ・賛成多数
- ◎ **吹田市職員定数条例の一部を改正する条例の制定 (案)** **可決**
(7月議会で泉井の求めた救急隊増隊に向け、職員を増員するための改正案です) ・全会一致
- ◎ **平成27年度吹田市一般会計補正予算 (第5号)** **可決**
(うち債務負担行為補正として南吹田地域地下汚染拡散状況調査業務費用も含まれます) ・賛成多数
- ◎ **地方自治を尊重し、辺野古新基地建設を強行しないよう求める意見書** **否決**
・自民・公明・新選会・維新・無所属クラブの反対、翔の会(民主系)の退席

泉井ともひろホームページも
ぜひご覧ください

<http://izui-tomohiro.com>

★一般会計補正予算ではH27年7月議会に
要望した南吹田地域の課題解決に向け、
強く進めなければいけません。

また、職員定数条例の一部改正についても
泉井が7月議会で取り上げ、提案した救急隊の
増隊に向け、大きく前進!
現在7隊を9隊にするための提案です。
※1隊につき10人必要

210 mm

吹田市議会

自由民主党



通 信 号 外

発行/自由民主党絆の会
〒564-8550
大阪府吹田市泉町 1-3-40 吹田市役所内
自由民主党絆の会 会派室
TEL:06-6337-6851

ご挨拶

自由民主党絆の会の泉井ともひろです。

「福祉」「健康」
「安心」「地域」
「経済」そして「責任」

を掲げ、任期開始後スタートダッシュで活動中!



会派通信にて議会報告をさせていただきます。
これまでの議会報告や、その他委員会のことはもちろん、議員を
目指すきっかけや近況、出来事など、泉井に関する情報を「泉井ホー
ムページ」で掲載していますので、あわせてご覧ください!

吹田市議会 平成27年12月定例会 議会報告

平成27年12月定例会は12月4日から12月24日まで開催され、
本会議(個人質問)では以下の質問と指摘、要望を行いました。

1. 9月議会から引き続き、障害福祉分野の現場課題、問題を鋭く指摘!
・(市民に分かりにくい組織改正(案)を問題提議)
2. 子供たちの遊び場が行政の、事なかれ主義のもと
・制限されていることへ苦言を呈し地域差解消を求めました!
3. 地域の防犯対策について提言。行政の意識と方向性を導きました!
・(車載カメラの活用と公共施設の防犯カメラ設置を!!)

詳しくは次ページをご覧ください!!

D

100mm

E

100mm

F

97mm (内側に折り込む面)

A

B

C

いずい

泉井ともひろ 個人質問

吹田市議会
12月定例会

一部抜粋しながら簡潔に報告します

100mm

D'

100mm

E'

97mm (内側に折り返す面)

F'

1. 日常的な金銭管理サービス等について

日常的な金銭管理サービスを必要とする方に対して、市は対応できているか

質問 認知症や知的障害、精神障害に起因して判断能力が不十分のため「生活費を計画的に使えないなどの相談から吹田市社会福祉協議会がサービス提供を行う「日常的な金銭管理サービス」の利用を希望している待機者が多く、現在約1年待ち。人材不足による対応の遅れ以外にも吹田市等との連携の課題。成年後見制度の認知度の低さが挙げられる。また、生活扶助費をパチンコ等につき込み生活が出来なくなる事案の問題、吹田市社会福祉協議会以外との連携、啓発活動における市の対応は。

答え 認知症等が進行するに伴い金銭管理サービス等のみで対応することは困難となる状況は従来より課題であると認識している。成年後見制度移行についても早期に積極的な相談を進める為様々な検討を行うと共に遊興費などに浪費し、生活保護制度に反した支出をしている者には指導を行っているが、金銭管理ができない被保護者については早急な対応が出来ず苦慮している。高齢者にかかる成年後見制度の周知については様々な場で啓発活動や研修を行っている。

泉井の見解 成年後見制度の利用ニーズは今後さらに高まる事が予測されますが、身寄りの居ない方等への対応としての市長申し立ては制度移行まで半年を要することから、更なる研究が必要。また障害福祉に関しては啓発活動すらまともに行っていない事が明らかになりました。増え続ける生活保護費の使用適正化をしっかりと図る必要があります。

※その他、関連として次ページ4が含まれます。

2. 地域による学校支援活動と小学校の放課後について

子供たちが外遊び出来る環境整備を行い、地域差解消を求める

質問 平成27年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰において本市「東佐井寺小学校区 太陽の広場」が受賞されました。しかし、一方では太陽の広場が月1回程度しか開催されない地域もあるとの事。東佐井寺小のように毎日太陽の広場が開催されれば、外で遊ぶ機会が確保できる。また、小学校は放課後、運動場を一定時間解放し、クラスのボールや遊具も自由に使えることになっているはずだが、保護者からは放課後解放を制限していると仄聞される。どうなっているのか。

答え 太陽の広場に関しては、地域差がないよう、見守りボランティアの登録者数を増やし、1回でも開催回数を増やせるよう、様々な改善策を図っていく。放課後の運動場については、事故や、行き帰りの安全確認等の課題はあるが、より多くの児童が使用できるよう配慮しながら、各学校が状況に応じて運動場を開放している。

泉井の見解と要望 太陽の広場に関しては、地域の方々がボランティアを引き受けるにあたり、不安を感じることもあるので、説明と協議をして頂き、少しでも増員し、開催回数を増やして頂くよう要望。放課後の運動場については、「状況に応じて開放」とのことですが、私には「学校内で事が起こらないように対応している」とだけにしか聞こえない答弁でした。そうでなければ保護者との話にズレは出ないはず。どちらにしても大人の事情で子供たちの外遊びが著しく制限されないよう要望しました。

3. 地域の防犯活動支援について

本市の防犯意識を問い、車載カメラの活用と公共施設に防犯カメラ設置を!

質問 平成27年10月現在、本市全体の犯罪認知件数は2848件、その内ひったくりや路上強盗など街頭犯罪7手口と言われる犯罪件数は1472件あり府下33市中7番目に多い。本市は安心・安全の都市づくり宣言のもと市民などで構成される協議会が様々な活動をおこなっているが、行政はその活動を支援するという形で関わっている。しかし活動支援だけでは昨年、今年と実施している「地域防犯カメラ設置支援モデル事業」のように事務手続きや管理運用、ランニングコストの問題等で見送る地域があり、地域差が生まれる。私(泉井)は、公共施設においては行政による防犯カメラ設置や公用車の車載カメラ設置を求めるが、今後市内全域の安心、安全な都市づくりをどのような意識で推進させるのか。

答え 地域の防犯については地域の見守り活動を補完し、見守りの目を広げていく事が重要と考える。全国では子どもの命が奪われる痛ましい事件が相次いで起こっており、地域では防犯活動を補完する環境整備が強く求められている。そうした中、「地域防犯カメラ設置支援モデル事業」を実施し、安心感の広まりについても評価を得ているが、市内全域に拡げるには様々な課題が明らかになってきている。そうしたことを踏まえても市の責任で道路や公園を含めた公共施設への防犯カメラの設置や市の公用車へのドライブレコーダー搭載等の事業化を図り、地域の見守りの目を更に拡大していきたい。計画がまとまり次第、議会の意見を伺い事業を進めていく。



泉井の見解 行政は今まで、地域の活動を支援する形をとってきましたが、それでは地域差は生まれてしまいます。市内全域の防犯対策は、やはり市が責任をもって実施しなければなりません。そういった事からの質問でしたが、今回は泉井の提案に対して、とても前向きな答弁を頂きました。

4. その他として福祉施策における行政の議会対応と組織改正(案)について質問しています。長文になり、ここでは伝えきれませんが、**今まで誰も指摘できなかった合計3億8000万円もの税金の使い方を問題提議しています。**ご興味のある方は是非、泉井ともひろホームページまたは、吹田市議会ホームページにて詳細をご覧ください。

自由民主党絆の会
泉井ともひろ
f 泉井ともひろ 検索
<http://izui-tomohiro.com>
OFFICE
〒564-0063 吹田市江坂町3丁目28-1
TEL 080-2476-6545
FAX 06-6386-5039
izi.up@izui-tomohiro.com